

みんなの5.7.5



みんなで創るみんなのページ。すてきな作品をお待ちしています！

- ・手をつなく 楽しさいっぱい 幼稚園
- ・まごの手を 引くのも嬉し 散歩道
- ・五月晴 空は継ぎ目の 無いあおさ
- ・黄砂去り 澄きった夜空に 輝く満月かな
- ・新歌に 通うスナック ママ笑顔
- ・こひのぼり もう一度見たい 過疎の村
- ・五能線 唄えば乗って みたくなり
- ・萌えいづる 庭の木々を見 元気がつけ
- ・このドラマ 見たいがねむい 夢の中か
- ・五月晴 親子二代の 昭和鯉
- ・目覚しの 時より早く 目が覚める
- ・一面に 黄色が癒す 休耕田
- ・ツバメ来た 可愛いらしいが つゆはらい
- ・「ハンコですヨ」 昔書留 今宅配
- ・そよ風に いやよいやよと 桜散る
- ・農は今 一粒万倍の 種をまく
- ・ふるさとへ 帰りて作る 草団子
- ・遠くより 級友来たりて 桜見かな
- ・着る事の ない服に又 ナフタリン
- ・初ひ孫 よろいかぶとの 初節句
- ・咲く花や 散る花もある 散歩道
- ・お下げ髪 似合うリボンに 蝶の舞
- ・梅雨空に 我の天下と かたつむり
- ・朝やけの 飛行機雲の あと白し
- ・いただいたよこみ餅 味と一緒に 手間もいただく

- 川本 一男 (安曇川町北船木)
- 山田お乃奈 (今津町下弘部)
- 梅村金次郎 (安曇川町藤江)
- 川端 昭子 (高島市畑)
- 平井 弘美 (安曇川町長尾)
- 中崎 徳子 (朽木桑原)
- 岸田 金子 (安曇川町田中)
- 高橋レイ子 (高島市鴨川平)
- 藤森みち子 (朽木柏)
- 高岡ふじ江 (マキノ町小荒路)
- 池田よし枝 (今津町今津)
- 鞍田 作枝 (新旭町饗庭)
- 坂田 ツネ (今津町角川)
- 中村 芳喜 (高島市武曾横山)
- 山本喜代治 (安曇川町長尾)
- 鈴木 京子 (安曇川町藤江)
- 赤塚 光恵 (安曇川町下古賀)
- 高木 いま (マキノ町野口)
- 進士 照子 (新旭町太田)
- 講殿 よね (安曇川町四津川)
- 斉藤 光江 (安曇川町今在家)
- 松山八夜夷 (今津町今津)
- 桑 洋 一 (新旭町太田)
- 伊吹 忠義 (マキノ町中庄)
- 黒川よしの (マキノ町寺久保)

- ・あつけなき 友の訃報に 声もなく
- ・畑・畑・畑 今年も彗と 知恵くらべ
- ・雨上り 何処から来るの みずすまし
- ・幸せと思う 三度のぬくいめし
- ・ママの胸 涙と荷物 新園児
- ・五月晴れ 親子孫鯉 天に舞う
- ・ぼけぼうし 一日おくれの 日記つけ
- ・高くても 口に合わない ものもあり
- ・トップラの 謝罪つづく 美しき園
- ・春たけて 何やらゆかしい 藤の花
- ・書きとめた メモ用紙 おるすばん
- ・ペコチャンが 山崎パンに 最敬礼
- ・五十年 おそいが妻に 本与え
- ・濡れ落葉 今日もゴロゴロ テレビ番
- ・上司の小言 ヒツジ数えて 聞き流す
- ・芝の上 飛ばしたくなる ゴルフかな
- ・顔はしわ 中身は青春 真只中
- ・定年後 グラウンドゴルフで 仲間増え
- ・妻の日々 グラウンドゴルフを 生きがいに
- ・杖ついた 姿に老いを 知らされる
- ・想い出は 心の中で よみがえる

- 松本せつ子 (マキノ町海津)
- 久保井とく (マキノ町寺久保)
- 井上 善三 (今津町浜分)
- 河原田 勝 (今津町岸脇)
- 高澤 芳枝 (今津町松陽台)
- 洞山千代江 (今津町南新保)
- 森本 幸枝 (今津町梅原)
- 平井 真造 (安曇川町上吉賀)
- 井口 みよ (高島市高島)
- 木津 みね (高島市拜戸)
- 上原 久枝 (新旭町針江)
- 八田 信子 (高島市高島)
- 西川五蔵三 (高島市高島)
- 上山 歳子 (高島市城山台)
- 上山 惟裕 (高島市城山台)
- 坂尾 真一 (新旭町旭)
- 堀本 美代 (新旭町旭)
- 熊谷 清美 (今津町梅原)
- 熊谷喜久雄 (今津町梅原)
- 清水 真夫 (今津町今津)
- 伊藤 博幸 (新旭町熊野本)

★投稿方法
8月1日号の締切りは6月30日です。
郵便またはEメールにより、投稿者氏名(ペンネーム不可、ふりがな付)、住所、連絡先を必ず書き添えて投稿してください。また、作品にもふりがなをお願いします。
〒520-1159-2
高島市新旭町北畑565番地
高島市役所秘書広報課

★注意!!
掲載は1号につきひとりで1点までとし、掲載希望が多数の場合は掲載できないことがあります。
掲載作品は秘書広報課で選考します。

「みんなのページ」係まで
☎(056) 81-300
✉kno@city.takashima.shiga.jp

市長日記

今年のゴールデンウィークは好天に恵まれ、各地でお祭りやイベントが盛大に催されました。田んぼも含め、休みなしの方もあったと思います。お陰様で勤まりましたね。

特に今年には継体天皇即位1500年を祝い、ご両親である彦主人王と振媛を祭神とされる三重生神社(常盤木)の「うしの祭り」では「神牛・神馬」が復活し、磐衝別命を祭神とされる水尾神社(拜戸)でも盛大に大祭が行われました。境内の大岩は、継体天皇の高島誕生説をより有力にする手がかりとされています。

最も印象に残ったのは「うしの祭り」の天狗と獅子の三三九度です。この神事は子どもたちによって行われますが、祭列の途中で振媛の里、越前に向かって天狗が3度を3回で9度飛び、続いて獅子頭をもったオシシ役の子が、3度口を開け閉めしながら左回りに3回廻って9度の拝礼をし、振媛を偲ばれるのです。

太鼓も「ドン・ド ドン・ド ドン・ド ドン」とテンポがよく、耳慣れたリズムと違いです。例年の3倍もの粽を撒きスローな祭りは締め括られました。

連休の合間に、雨二毛負ケズ古代の宮道であった北陸道を黒河林道から入り、明王亮から花の百名山・赤坂山そして栗柄越えを辿りました。特筆すべきは、トキワイカリソウやシヨウジョウバカマ、トクワカソウ、オオバキスミレ、マキノスミレ、カタクリ、オオイワカガミなど貴重な草花が咲き続く豊かさです。小さな花々が緑を背景に、極楽かしらと

※センス オブ ワンダー! 神秘さや不思議さに目を見張る感性のこと。レイチェル・カーソンの著書のタイトルにも有名な言葉。6月16日(土)には、この著書の翻訳者 上遠恵子さんをお招きし、里山ジャンボリーを開催します。(6月15日号12ページに関連記事)

思うほど美しい時空を創っていました。自然への畏敬は、猛威に対する恐れだけでなく、美や神秘性によっても深められてきたことに気づきました。

新入職員研修を兼ね、若狭から朽木小入谷へ抜ける針畑越えの古道を歩いた時も、ブナや芦生杉をはじめ色々な緑に感動しました。頂上部の広葉樹が保水力ある山を作っており、杉などの植林帯も育つとのこと。この大いなる緑の保水力が里や田畑や琵琶湖に繋がっています。市民の皆さんこそ高島の美しさと一緒に層友達になれるのですし、自然の声を聞くことができるのだと思います。正に「センスオブワンダー」の事始めです。

この度、琵琶湖に境界線を引き、市・町に帰属させる合意が成立しました。今後、市議会の議決を得て手続きが進むと、沖の白石を含む琵琶湖の27.2パーセント、1822平方キロメートルが高島市に加わることとなります。これに伴い交付税の面積割りが増額になる見込みです。半分は、琵琶湖を保全する共有財源に提出する約束で、市には3、850万円が残る予定です。この合併前には見込んでいなかった財源は、米百俵の逸話のように教育や琵琶湖と繋がる環境保全に活用したいと思いますが如何でしょうか。

来年度から高島市の面積は6993平方キロメートルとなり滋賀県の6分の1を占めます。近畿11市の中では、田辺市(1,026)、京都市(827)、豊岡市(697)に続いて4番目のようです。

海東英和 拝

チャレンジ!

省エネ長者作戦

毎日の生活の中で、節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく、家計を助けることにもなります。このコーナーでは家庭で簡単にできる省エネを紹介していきます。

◆省エネアドバイス

【照明器具編】

☆電球型蛍光灯ランプに 取り替える
年間で電気84・00 kWhの省エネ約1、850円の節約(54Wの白熱電球から12Wの電球型蛍光灯ランプに交換した場合)

☆電球型蛍光灯ランプと白熱電球のコストを比べると

・54Wの白熱電球と、同じ明るさに相当する12Wの電球型蛍光灯ランプを比べると、蛍光灯ランプの寿命は白熱電球の約6倍で電気代は1/4以下です。白熱電球用のソケットに取り付けられる電球型蛍光灯ランプは価格が高めですが、電気代が少なくてすみ、結局はお得です。

☆点灯時間を短くする

○白熱電球の場合
・年間電気19・71 kWhの省エネ約430円の節約(54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合)

○蛍光灯の場合

・年間電気4・38 kWhの省エネ約100円の節約(12Wの蛍光灯1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合)

☆こまめに器具の掃除をする

・照明のかさやカバーが汚れると明るさが低下します。こまめな掃除を心がけて明るさをアップしてください。

■出典：家庭の省エネ大事典(財団法人/省エネルギーセンター発行)
<http://www.ecci.or.jp/dict/> (環境政策課)